

## **7章 調査結果の利活用に向けた成果報告会の開催**

本章では、調査結果を町内の観光事業者等の関係者に報告した際の実施概要と関係者からの意見を整理している。

## 7-1 中間報告会

## (1) 第1回開催概要

中間報告会（第1回）の開催概要は下表（表7-1）の通り。

表7-1 中間報告会（第1回）の開催概要

開催日時	令和6年12月23日（月） 13:00~14:00
実施形態	ハイブリッド形式（対面+WEB）
開催場所	北谷町商工業等研修施設（ホール）
内容	<p>◆資料説明</p> <p>①観光統計調査の整理</p> <p>②国内観光客に係る調査</p> <p>③国外観光客に係る調査</p> <p>④観光客満足度・消費動向調査</p> <p>⑤口コミによる観光地評価</p> <p>⑥観光消費による経済波及効果 等</p> <p>◆質疑応答</p>
参加者数	<p>【対面参加】：6名</p> <p>【WEB参加】：0名 計6名</p>

## (2) 第1回質疑応答

参加者からの質問・意見等はなかった。

## (3) 第2回開催概要

中間報告会（第2回）の開催概要は下表（表7-2）の通り。

表7-2 中間報告会（第2回）の開催概要

開催日時	令和6年12月23日（月） 15:00~16:00
実施形態	ハイブリッド形式（対面+WEB）
開催場所	北谷町商工業等研修施設（ホール）
内容	<p>◆資料説明</p> <p>①観光統計調査の整理</p> <p>②国内観光客に係る調査</p> <p>③国外観光客に係る調査</p> <p>④観光客満足度・消費動向調査</p> <p>⑤口コミによる観光地評価</p> <p>⑥観光消費による経済波及効果 等</p> <p>◆質疑応答</p>
参加者数	<p>【対面参加】：2名</p> <p>【WEB参加】：3名 計5名</p>

(4) 第2回質疑応答

参加者からいただいた質問とそれに対する回答は下表（表7-3）の通り。

表7-3 質疑応答

質問①	・国内の宿泊客数は増えている実感を持っていたが、19ページの報告では減っているとのことだった。この点、何か理由等がわかれば教えていただきたい。
回答①	・日本人の宿泊客数の減少幅が大きい点については、集計の誤りがないか確認作業を行っている。最終報告会で、日本人宿泊客数の確定値を示せればと思う。
質問②	・沖縄県などの調査では、年度で整理することが多い一方、今回の集計は1月から12月で集計しているのはなぜか。関係者に説明する際、集計期間がそろっていたほうが望ましいと感じている。
回答②	・年と年度で整理する予定だが、中間報告では年のみを提示していた。最終報告会では、年度の結果について報告できればと思う。
質問③	・観光協会の会員から聞いている内容や実感と比べると、宿泊者数の結果にギャップを感じる。（宿泊施設タイプ別の集計値で示されているような）県外観光客のリゾートホテル宿泊割合の減少による影響とは考えにくい。県の観光DX調査でも宿泊者数が落ち込んでいるため、原因を明らかにしていただきたい。
回答③	・宿泊客数について、現在精査中だが、統計調査のデータを見ると、減少傾向が県内の他の市町村で想定される。だとしても、北谷町における宿泊客数の減り幅が大きいため、改めて見直す。
質問④	・性別構成比は、女性のほうが多いとのことだったが、他の調査では男性が多い。この違いは何か。
回答④	・県の観光DX調査はブログウォッチャー社のデータを用いている一方、今回の中間報告ではAgoop社のデータを用いており、この違いが考えられる。
意見①	・データの違いによって分析結果が反転したのだとすると、施策の検討・判断がしにくいのではないかと。
質問⑤	・観光客の居住地の判別はどのように行っているのか。
回答⑤	・夜間に頻度高く観測される地点を、居住地として判定している。
質問⑥	・これまでは福岡県が来訪者居住地ランキング5位だったが、今年は6位等に位置しているのか。ランキング構成に大きな変化はないか。
回答⑥	・順位の入替えはあるものの、大きな変化は生じにくいと想定している。
意見②	・最終報告ではランキングの10位くらいまで掲載してほしい。
質問⑦	・情報サービスの満足度が相対的に低いとのことだが、情報サービスとは何を指すのか。（情報発信内容が悪いのか等）質問項目の意図を教え

	てほしい。
回答⑦	・情報の内容の充実さについて質問していた。
質問⑧	・情報の内容の充実さというのは、北谷町に着いてからの情報についてか、それとも Web に掲載している情報についてか。
回答⑧	・情報内容の充実さについて、ざっくりとした設問となっている。
意見⑨	・具体的にどこを改善すればいいのかわからないので、判断しにくい内容となっている。
回答⑨	・現状調査紙面に掲載できる質問数の制約上、具体的な内容について聞けていないが、今後、情報サービスの改善項目に焦点をあてて、アンケート項目を代わりに設けてもよいと考えている。この点は北谷町と協議し、判断したい。
意見⑩	・最終報告会での掲載内容について、観光協会の会員に聞き取りを行ったうえで、掲載内容を検討してはどうか。観光協会としては旅前の観光情報収集に関する集計をいれるべきと考えている。
回答⑩	・アンケートの質問設計で改善すべき点かと思う。今後把握できるよう検討する。

## 7-2 最終報告会

### (1) 第1回開催概要

最終報告会（第1回）の開催概要は下表（表7-4）の通り。

表7-4 最終報告会（第1回）の開催概要

開催日時	令和6年2月26日（水） 13:00～14:00
実施形態	ハイブリッド形式（対面＋WEB）
開催場所	北谷町美浜メディアステーション（IT研修室）
内容	<p>◆資料説明</p> <p>①観光統計調査の整理</p> <p>②国内観光客に係る調査</p> <p>③国外観光客に係る調査</p> <p>④観光客満足度・消費動向調査</p> <p>⑤口コミによる観光地評価</p> <p>⑥観光消費による経済波及効果 等</p> <p>◆質疑応答</p>
参加者数	<p>【対面参加】：9名</p> <p>【WEB参加】：4名 計13名</p>

### (2) 第1回質疑応答

参加者からいただいた質問とそれに対する回答は下表（表7-5）の通り。

表7-5 質疑応答

質問①	・P41の県外居住者の滞在・周遊状況で、那覇空港が出てくるが、那覇空港は観光スポットとしてカウントしているのか。
回答①	・今回の調査では、人が長時間滞在しているところを観光スポットとして定義している。どういった理由で長く滞在していたかは、わからないが、那覇空港でも滞在が見られたため、観光スポットとしている。
質問②	・「長時間」というのは、先ほど冒頭でおっしゃっていた「8時間」程度という認識でよいか。
回答②	・「8時間」は観光庁による定義である。8時間だと長すぎて、ほとんどの方が町外に出ていないことになってしまうため、今回は、エリアの中で15分程度滞在している場合を「観光」と定義している。
質問③	・P61において、「情報サービス」に不満を持たれている方が多いということだが、「情報サービス」とは具体的にどういったものか。
回答③	・基本的には「情報発信」を意図している。昨年も同様の傾向にあり、12月の中間報告会でも同様のご質問をいただいた。現状では、「情報サービス」というざっくりした形での設問になってしまっているが、2年連続で同様の傾向が出ているため、少なからず改善の余地があると想定されるため、来年以降に同様の調査があった場合には、深掘り

## 7章 調査結果の利活用に向けた成果報告会の開催

	<p>する調査が行えるとよい。</p>
質問④	<p>・「情報サービス」について、どのように設問を設定しているのか。</p>
回答④	<p>・北谷町における観光について、各項目について満足度を5段階で伺っている。</p>
質問⑤	<p>・P36の観光スポット間の周遊状況のデータの出典は何か。</p>
回答⑤	<p>・P12において、使用データを整理しているが、日本人は、Agoopが販売しているGPSデータ、外国人は、Aziraという会社のGPSデータを使用している。</p>
質問⑥	<p>・P40の比率は、大きくても3%程度で、大した差がないように見えるがいかがか。</p>
回答⑥	<p>・ここでは、県内全域の観光スポットの中で、北谷町ではどこを訪れているのかを分析しており、県内全域で見ているという特性上、分散傾向になってしまっている。</p>
質問⑦	<p>・観光客の定義について、観光地に訪れている県内客も「観光客」として定義しているということか。</p>
回答⑦	<p>・そのとおりである。県内客であっても、特定のスポットに訪れて、長く滞在しているということで、観光客としてみなしている。事業者によってターゲットは異なるかと思うが、今回の分析では、県内客・県外客・インバウンドの3分類の特徴が見えるように分析している。</p>
質問⑧	<p>・「長く」滞在している人ということだが、具体的に何時間くらいか。</p>
回答⑧	<p>・長く滞在するスポットもあれば、それほど長く滞在しないスポットもあるかと思う、スポットによって滞在時間の基準を変えている。各エリアごとに、来訪者の平均滞在時間を算出し、その平均滞在時間よりも長く滞在していた方を「観光客」と定義している。</p>
質問⑨	<p>・平均滞在時間の一覧表は、報告書に掲載されるのか。</p>
回答⑨	<p>・報告書に掲載予定である。</p>
質問⑩	<p>・シーポートちやたんカーニバルのイベント分析について、この時期はサマーシーズンで、観光客が増える時期のため、このイベントがあったから訪れたという断定ができないと思うがいかがか。エリア設定も北谷町全体ではなく、イベントを行っているエリアに限定したほうがよいのではないか。</p>
回答⑩	<p>・エリア設定を含め、ご指摘いただいたところまで深化できていなかったため、分析を見直してまいりたい。</p> <p>・中日ドラゴンズの春季キャンプについてもそうだが、まずは北谷町に宿泊した方の状況を探るという観点から、広いエリア設定としていた、今後エリアを絞って、見ていければと思っている。</p>
意見①	<p>・イベント分析を行うのであれば、どこから訪れていて、誰に波及効果があったかを明らかにすべきではないか。</p>

### (3) 第2回開催概要

最終報告会（第2回）の開催概要は下表（表7-6）の通り。

表7-6 最終報告会（第2回）の開催概要

開催日時	令和6年2月26日（水） 15:00～16:00
実施形態	ハイブリッド形式（対面＋WEB）
開催場所	北谷町美浜メディアステーション（IT研修室）
内容	<p>◆資料説明</p> <p>①観光統計調査の整理</p> <p>②国内観光客に係る調査</p> <p>③国外観光客に係る調査</p> <p>④観光客満足度・消費動向調査</p> <p>⑤口コミによる観光地評価</p> <p>⑥観光消費による経済波及効果 等</p> <p>◆質疑応答</p>
参加者数	<p>【対面参加】：3名</p> <p>【WEB参加】：7名 計10名</p>

### (4) 第2回質疑応答

参加者からいただいた質問とそれに対する回答は下表（表7-7）の通り。

表7-7 質疑応答

質問①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P17において、北谷町の観光客数が、2019年に比べて半減している一方で、P7にも示されているように、沖縄県全体ではコロナ禍前の水準まで回復傾向にあるということで、実態との乖離を感じるが、こういった要因が考えられるか。</li> </ul>
回答①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P17については、県内観光客のデータのため、大きな減少となっているが、県外客数についても、微減となっており、北谷町に立ち寄る観光客数が減少してしまっていることが想定される。</li> <li>・沖縄県でも別の会社のGPSデータを用いて、同様の分析を行っているが、同じような分析結果となっているため、「沖縄県に来る方は増えているが、滞在日数が減ってきており、そうした中で滞在する場所として北谷町が選ばれにくくなっている」ということが類推される。</li> </ul>
質問②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内客が減少し、インバウンドが増加するという統計結果となっている。この結果を受けて、北谷町として、国内向けに観光施策を行うのか、国外向けに観光施策を行うのか、どのようにお考えか。</li> <li>・また、2026年度から宿泊税が導入予定だが、この結果を受けて、宿泊税の利用用途が決まっていれば教えていただきたい。</li> </ul>
回答②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結果が出たばかりで、内部で検討ができていないわけではないため、すぐにご回答は難しい。ただ、この調査において、美浜エリアの宿泊事</li> </ul>

	<p>業者にお話しを伺ったところ、インバウンドが来てくれているおかげで、宿泊単価が高いにも関わらず、売上が確保できているとのことだった。この辺りについては、地域の事業者様と話し合いながら、どういったブランディングをしていくかを検討していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊税の用途についても、現段階ではご回答が難しい。こちらについても、この調査の結果を受けて、どういった用途に利用していくかを検討してまいりたい。</li> </ul>
質問③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インバウンドについて、日本全体ではコロナ前の水準まで戻ってきている一方で、沖縄県は、コロナ前の水準まで戻っておらず、特に中国人の戻りが悪いというところで、飛行機の便数が回復していないから、観光客数も回復していないのか、それとも、沖縄に対する需要が変化してきているため、回復していないのか、どういった原因が考えられるか。</li> </ul>
回答③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな要因が考えられ一概には言えないが、中国人の所得の減少も一因と考えられる。また、中国人も体験を求めるようになってきているというところで、トレンドの変化も見られる。</li> </ul>



図7-1 最終報告会（第1回）のようす